

令和5年第4回北海道議会定例会 追加質疑 開催状況
(経済部経済企画局経済企画課)

開催年月日 令和5年12月5日
 質問者 日本共産党 真下 紀子 議員
 答弁者 知事

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>一 価格高騰等経済対策の考え方について (真下議員)</p> <p>予算額1,791億円のうち、多くが公共事業費で占めており、経済対策、一般施策としては207億円の事業案計上にとどまっています。そのうち11月27日に、私ども日本共産党道議団として緊急経済対策として提案させていただいた要望、及びこれまでの議会議論を通じた道立学校の空調設備等の設置、無加温ハウスの整備、また、食材料費の高騰の中、医療機関・社会福祉施設等に対する支援、飼料・価格等の影響を受けている酪農経営に対する自給飼料への支援、地域交通事業者や運送事業者に対する支援などが新たに盛り込まれ、一定反映されているものと考えています。</p> <p>そこで、予算特別委員会分科会で質疑できない分野に絞ってこの場で質疑させていただきます。</p> <p>まず、物価燃料高騰で大きな負担を強いられている道民の声や議会議論を踏まえ、どのように経済対策の改定にあたったのか、そのお考えをお伺いします。</p>	<p>(知事)</p> <p>価格高騰に関し、対策の考え方についてであります。エネルギーや食料品などの価格高騰が長期化する中、冬を迎え大変厳しい状況にある道民の皆様や事業者の方々の影響を軽減し、社会経済活動の回復を確かなものとしていくため、先月開催した経済対策推進本部で、私から、国の重点支援地方交付金の追加措置などを踏まえ、必要な対策の検討を加速するよう指示したところであり、道議会の皆様からいただいたご要望や、振興局や道の各種調査などを通じ把握した、道民の皆様や事業者の方々の実情やニーズなどを踏まえ、このたび、暮らしの安心と経済の活性化に向けて必要となる補正予算案を提案し、価格高騰等経済対策を改定することとしたところであります。</p>